

富山県花と緑の祭典2024

第52回

花と緑の大会

とき 令和6年10月23日(水)

ところ 富山県民会館



あかしろきいろ そだてた花にあつまるえがお

標語 氷見市立上庄小学校 3年 斉藤 広和
画 上市町立上市中学校 2年 齊藤 俐音

令和6年度 花と緑のコンクール 最優秀賞

公益財団法人 花と緑の銀行

富山県花と緑の祭典2024

第52回 花と緑の大会次第

- I 開 会
- II 主催者（理事長）あいさつ
- III 花と緑の功労者表彰 1～5
 - 1 富山県環境部門県土美化分野緑花功労表彰
 - 2 公益財団法人花と緑の銀行理事長表彰
- IV 花と緑のコンクール表彰
 - 1 花と緑のポスター原画コンクール 6～8
 - 2 花と緑の標語コンクール 9
 - 3 富山県花のまちづくりコンクール
 - (1) プレミアム花壇 10～11
 - (2) 一般花壇 12～13
 - (3) 花の道 14～15
 - (4) 学校花壇 16～17
- V 来賓祝辞
 - 富山県議会議長
 - 公益社団法人 とやま緑化推進機構理事長
- VI 来賓紹介
- VII 記念写真
 - (休 憩)
- VIII 花と緑の講演会 18～19
 - 演題 「らくして、楽しい！園芸作業のススメ」
 - 講師 NHK「趣味の園芸」講師
日本フラワーカレッジ 講師
園芸家 杉井 志織 氏
- IX 閉 会

※同時開催 令和6年度富山県花と緑のコンクール入賞作品及び花壇写真展示

Ⅲ 花と緑の功労者表彰

1 富山県環境部門県土美化分野緑花功労表彰

ふじた きよみ
藤田 貴代美 (富山市)

平成17年に「花と緑の銀行富山支店山田地方銀行」のグリーンキーパーに就任し、平成22年からは頭取として地域の緑化活動に取り組んでいる。地域の活動では、「富山市花と緑の連合協議会」の理事も務め、公民館や小・中学校を中心とした花壇の整備や管理指導、花と緑を通じた世代間交流を行うなど、地域緑化や普及啓発に貢献している。

あとじ こうきち
跡地 孝吉 (高岡市)

平成19年に「花と緑の銀行高岡支店下関地方銀行」のグリーンキーパーに就任し、平成24年からは頭取として地域の緑化活動に取り組んでいる。地域の活動では、「下関校下花と緑の推進委員会」の会長も務め、校下全体の花苗の育成や仕分け指導を行うなど、地域緑化や普及啓発に貢献している。

よしだ まこと
吉田 允 (黒部市)

平成16年に「花と緑の銀行黒部支店生地地方銀行」の頭取に就任し、令和4年からはグリーンキーパーとして地域の緑化活動に取り組んでいる。地域の活動では、「生地フラワー友の会」の会長も務め、緑化技術や緑化意識向上を目的とした講習会を開催するなど、地域緑化や普及啓発に貢献している。

さの たけひこ
佐野 武彦 (射水市)

平成14年に「花と緑の銀行射水支店小杉支所黒河地方銀行」のグリーンキーパーに就任し、平成22年からは頭取として地域の緑化活動に取り組んでいる。地域の活動では、「小杉花作り同好会」の会長を務め、歌の森運動公園(射水市黒河)の花壇整備や維持管理を行うなど、地域緑化や普及啓発に貢献している。

さんごう あいこうかい
三郷フラワー愛好会 (富山市)

平成11年の設立以降、活動拠点の場フラワーパーク(富山市水橋)を中心に緑化活動に取り組んでいる。地域の保育園、小学校、病院などへの球根配布、緑化活動を小学校の総合学習として実施し、花壇整備や管理指導を行うなど、地域緑化や普及啓発に貢献している。

2 公益財団法人花と緑の銀行理事長表彰

個人の部

なかひら りょういち
中平 良一 (富山市)

平成14年に長岡地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、22年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

活動拠点である北代花壇の整備・維持管理に取り組むほか、近隣にある長岡保育所へ出向き、花苗や樹木の植え付けを行うなど、こども達が緑に親しむ機会の創出にも努めている。

くら いさお
蔵 伊佐夫 (高岡市)

平成9年に木津地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、27年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

活動拠点である高岡やぶなみ駅花壇などでの植え付け指導や育苗管理を行うほか、小中学生への花苗植え付け教室などを企画・開催するなど、花と緑の普及活動も精力的に続けている。

こうしょう さとし
幸正 哲 (高岡市)

平成10年に成美地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、26年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

活動拠点である成美小学校や成美保育園の花壇の維持管理に努めるほか、成美小学校では先生や生徒に対し花壇づくりの指導を行い、学校花壇の魅力創出に尽力している。

なかやま しげお
中山 重雄 (高岡市)

昭和64年に太田地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、35年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

活動拠点である太田中村花壇の維持管理に努めているほか、花苗やプランターの配布などに積極的に取り組んでおり、他の模範となっている。

みかみ まさお
三上 正男 (射水市)

平成24年に大江地方銀行の頭取に就任、更に平成27年からは射水支店理事にも就任し、延べ12年にわたり地域の緑化活動の中心的役割を担っている。

活動拠点である大江コミュニティセンター花壇などの活動には積極的に参加し、グリーンキーパーの活動全般の管理を行うなど、精力的に活動をしている。

たかぎ よしたか
高木 良孝 (射水市)

平成19年に堀岡地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、17年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

活動拠点である堀岡西町花てまり街道花壇において、長年にわたり花壇づくりに率先して取り組み、通行者が親しみやすい環境の整備に尽力している。

あべ かずなり
安部 一成 (射水市)

平成27年に大門地方銀行の頭取に就任して以来、9年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

活動拠点である大門防災広場花壇や県道新湊・庄川線(花の道)花壇において、指導者として長年にわたり花壇づくりに率先して取り組んでいる。

おおの じゅんこ
大野 順子 (魚津市)

平成21年に経田地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、15年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

活動拠点である経田駅前花壇では植栽のほか、地方銀行の活動日以外においても灌水や除草等の維持管理に日々率先して取り組み、地域の緑化推進に尽力している。

もりなが ゆきえ
盛永 由紀江 (魚津市)

平成20年に上野地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、16年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

活動拠点である大海寺新公民館前花壇の維持管理責任者を務めるほか、地域花壇の維持管理に率先して取り組み、更に寄せ植え教室にも協力するなど、地域の緑化推進に尽力している。

かきたに さだこ
柿谷 貞子 (氷見市)

平成22年に朝日丘2区地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、14年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

活動拠点である御座町さわやか花壇などでは、自宅から花壇まで、朝晩、台車でポリタンクの水を運び灌水を行うなど、地域緑化活動の中心的な役割を担っている。

なかやま こ
中山 まち子 (氷見市)

平成25年に十二町1区地方銀行の頭取に就任して以来、11年にわたり地域の緑化活動の中心的役割を担っている。

活動拠点である「ふれあい花壇」では、水やりのチェックカードを作成し、交代で作業に取り組むなど、効率的かつ持続可能な花壇の維持管理に尽力している。

よしまつ かつのぶ
吉松 勝信 (黒部市)

平成24年に石田地方銀行のグリーンキーパーに就任し、令和元年から3年間は頭取も務めるなど、延べ12年にわたり地域の緑化活動の中心的役割を担っている。

活動拠点である石田公民館花壇の維持管理に努めるほか、地域の緑化推進のリーダーとして、各花壇への花苗や球根の配分を行うなど、精力的に活動を続けている。

にしおか みのる
西岡 稔 (砺波市)

平成23年に五鹿屋地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、13年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

活動拠点である五鹿屋中央花壇などの維持管理に努めるほか、プラグ苗を栽培管理し配布するなど、五鹿屋地区の緑化推進に尽力している。

いけだ りつこ
池田 律子 (小矢部市)

平成15年に正得地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、21年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

活動拠点である正得コミュニティ広場周辺花壇などでは維持管理のほか、こども達と一緒に花苗の植え付けを行うなど、こども達が花と緑に親しむ機会の創出にも努めている。

むらかみ みやこ
村上 都 (小矢部市)

平成20年に子撫地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、16年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

活動拠点のひとつである東部小学校花壇では、生徒と一緒に花苗の植え付けや水やりを行う取り組みを行っており、こども達が花と緑に親しむ機会の創出にも努めている。

かわはら よしかず
河原 吉一 (小矢部市)

平成27年に北蟹谷地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、9年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

活動拠点である北蟹谷公民館花壇では、栽培管理のリーダーとして花壇の拡充整備や維持管理に尽力するなど、地域の緑化推進に努めている。

たなだ てるみ
棚田 照美 (小矢部市)

平成15年に正得地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、21年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

活動拠点である正得コミュニティ広場周辺花壇などでは維持管理のほか、こども達と一緒に花苗の植え付けを行うなど、こども達が花と緑に親しむ機会の創出にも努めている。

はやかわ すみこ
早川 澄子 (南砺市)

平成16年に南部地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、20年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

活動拠点である玉成花壇の維持管理のほか、「玉成花壇愛好会」のメンバーとして花壇のデザインや植栽・管理、寄せ植えの講習会を行うなど、地域の緑化推進に尽力している。

たけだ こうせい
竹田 孝正 (南砺市)

平成19年に高瀬地方銀行の頭取に就任、更に平成25年からは井波支所長にも就任し、延べ17年にわたり地域の緑化活動の中心的役割を担っている。

活動拠点である八乙女花壇は井波全地域で共同管理しており、その花壇づくりの調整・取りまとめ役として、地域の緑化活動の推進に尽力している。

たかた かずこ
高田 和子 (南砺市)

平成16年に山田地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、20年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

また、「縄蔵美土里グループ」の代表として、活動拠点である縄蔵公民館花壇の維持管理を通じ、地域住民の交流の場づくりにも貢献している。

おおうら ちえこ
大浦 千恵子 (南砺市)

平成17年に南山田地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、19年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

活動拠点であるJR城端駅広場では、プランター、ハンギング等に工夫を凝らして花苗を植えるなど、駅利用者に花や緑に親しんでもらえるよう努めている。

にし の さちこ
西野 幸子 (上市町)

平成25年に上市地方銀行のグリーンキーパーに就任、平成31年からは頭取として、11年にわたり地域の緑化活動の中心的役割を担っている。

活動拠点である「ふれあいガーデン」では花壇管理の指導を行うほか、花と緑に関するコンテストへの参加を率先して呼びかけるなど、地域の緑化活動の推進に尽力している。

やまむら きぬこ
山村 きぬ子 (上市町)

平成25年に上市地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、11年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

活動拠点である「ふれあいガーデン」において、花壇配置のレイアウト考案や土作り、花苗の植え込み、水やりなど、会員に声をかけながら積極的に管理を行っている。

むらた あきら
村田 彰 (立山町)

平成24年に五百石地方銀行の頭取に就任して以来、12年にわたり地域の緑化活動の中心的役割を担っている。

活動拠点の前沢中央公園では、花苗の植え付けや水やり、除草など日々継続的に活動を行うほか、頭取として五百石地区の緑化活動の推進に尽力し、グリーンキーパーからの信頼も厚い。

団体の部

と や ま し り つ や ま だ し ょ う が っ こ う
富山市立山田小学校 (富山市)

長年にわたり全校生徒が協力しながら花壇等の整備に取り組んでおり、中でも年に2回、季節に合った花をプランターに植え、正門から玄関にかけてフラワーロードを作っている。

また、地域住民とともに草むしりや水やりを行うなど、地域ぐるみでの学校緑化に取り組むなど世代間交流を深めている。

ほ い く え ん
まつわか保育園 (富山市)

平成18年の開園以来、18年にわたり園児と一緒に花苗の植え付けや水やり、花がら摘みなどを行いながら、園児が広く花と緑に興味・関心を持てるよう取り組んでいる。

また、園児とはチューリップの球根取りや花壇の土壌づくりも一緒に行っており、一年を通して花壇へ愛着を持ってもらえる活動を続けている。

お お し み ず じ ち かい
大清水自治会 (高岡市)

昭和57年に大清水自治公民館花壇が造成されて以降、42年にわたり当該花壇が地域の憩いの場となるよう、精力的に維持管理を行っている。

また、花と緑に関するコンクールへも積極的に参加しており、地域の連帯感の向上に努めている。

いちのみやこうえんあい ご きょうりょくかい
一宮公園愛護協力会 (高岡市)

平成12年に一宮公園花壇が整備されて以降、24年にわたり当該花壇が地域住民の生活の憩いの一部となるよう、精力的に維持管理を行っている。

また、花と緑に関するコンクールへも積極的に参加しており、一宮公園の魅力向上に努めている。

い み ず し り つ つ くり み ち し ょ う が っ こ う
射水市立作道小学校 (射水市)

平成5年に学校花壇が整備されて以降、31年にわたり学校と地域ボランティアが共同で花壇の維持管理を行っている。

また、花と緑に関するコンクールへも積極的に参加しており、地域ぐるみでの緑化活動を精力的に進めている。

お が み ち く り ょ く か す い し ん き ょ う ぎ かい
雄神地区緑化推進協議会 (砺波市)

平成5年の設立以来31年にわたり、雄神ふれあい広場花壇などを中心に、地区内の緑化推進を通じて活力ある地域づくりに貢献している。

グリーンキーパーを中心に、地域住民が協力して各地区花壇の維持管理を行っており、地域の連帯感の向上にも繋がっている。

Ⅳ 花と緑のコンクール表彰

1 花と緑のポスター原画コンクール

最優秀賞



上市町立上市中学校 2年
齊藤 俐音

優秀賞



氷見市立南部中学校 3年
佐賀 陽織

優秀賞



富山県立富山北部高等学校 1年
坂高 柚季

優秀賞



富山市立藤ノ木小学校 3年
月山 依茉

優良賞



高岡市立高岡西部中学校 2年
川路 紗菜



高岡市立牧野小学校 3年
釣谷 紗玖



朝日町立さみさと小学校 6年
松本 堇子



富山市立大沢野中学校 2年
杉川 茉鈴



氷見市立北部中学校 1年
谷井 知歩

総評

今年は例年のない猛暑が続く大変な夏でしたが、応募総数2862点 昨年より257点増えました。52回という歴史のあるコンクールの重みを感じ、またインパクトの強い秀作揃いで、選考に苦労いたしました。

最優秀賞評

最優秀賞を受賞した上市町立上市中学校 齊藤俐音さんの作品は、華やかな色彩の作品が多い中で「私を見て」というようにスーと立ったモノクロのヒマワリでした。

パッと遠くからでも目に飛び込むインパクト、何かを訴えているようなモノトーンの本だけのヒマワリ（描写力が素晴らしい）、たくましい雲と空の青、単純化された山並み。見る人によっていろんな感情が沸いてくる、今までにはなかった傾向の作品ですがポスターとしては最高に素晴らしい作品になっていると思います。

（審査委員長 越谷 なつみ）



黒部市立明峰中学校 1年
松原 妃花

佳作



黒部市立宇奈月小学校 1年
澤越 日和



滑川市立北加積小学校 1年
中島 颯音



富山市立堀川南小学校 1年
奥田 蒼生



富山市立大沢野小学校 1年
新海 葵



滑川市立北加積小学校 2年
岩城 琴子



滑川市立北加積小学校 2年
高縁 六花



富山市立鶴坂小学校 2年
沓掛 直



富山市立中央小学校 2年
米田 菜里



氷見市立窪小学校 2年
西川 梓



滑川市立西部小学校 3年
坂東 美怜



富山市立鶴坂小学校 3年
林 彩空



富山市立光陽小学校 3年
松野 仁美



高岡市立木津小学校 3年
圓佛 みなみ



滑川市立寺家小学校 4年
朝野 凜



富山市立新庄北小学校 4年
羽田 蒼



富山市立中央小学校 4年
神永 結衣



射水市立新湊小学校 4年
根来 志歩



高岡市立木津小学校 4年
高森 さくら

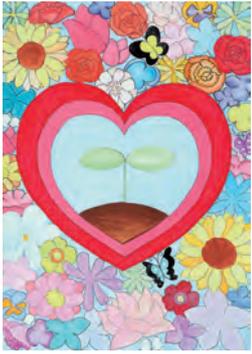


高岡市立牧野小学校 4年
安川 心陽



黒部市立桜井小学校 5年
鈴木 紗矢

佳 作



富山市立大沢野小学校 5年
松本 紗季



富山市立鶴坂小学校 5年
水越 愛來



高岡市立成美小学校 5年
山村 叶実



南砺市立井波小学校 5年
上田 美悠香



片山学園初等科 5年
早川 結彩



滑川市立西部小学校 6年
魚躬 葵



高岡市立国吉義務教育学校 6年
山田 冬和



黒部市立清明中学校 1年
千葉 萌々花



富山市立岩瀬中学校 1年
菘浦 愛子



射水市立小杉中学校 1年
清水 琢磨



高岡市立芳野中学校 1年
草開 葵衣



高岡市立戸出中学校 1年
廣瀬 凜



氷見市立西條中学校 1年
大口 萌音



氷見市立西條中学校 3年
高瀬 未羽



氷見市立西條中学校 3年
松井 陽愛



小矢部市立石動中学校 3年
水島 綺優



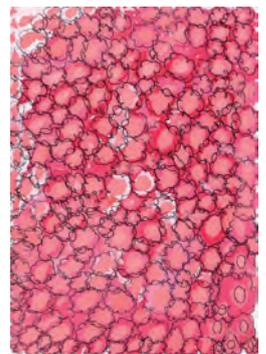
南砺市立南砺つばき学舎 9年
平瀬 蓮弥



富山県立富山北部高等学校 1年
竹内 夢奈



富山県立富山北部高等学校 1年
牧野 ろあん



富山県立とнами総合支援学校高等部 3年
小西 琉聖

2 花と緑の標語コンクール

最優秀賞

あかしろ きいろ そだてた花に あつまるえがお

氷見市立上庄小学校 3年 齊藤 広和

優秀賞

みちばたの おはなはぼくの みまもりたい
あさおきて 花にもおはよう えがおでみずやり
さいたかな あさのとうこう たのしみだ

氷見市立上庄小学校 1年 山下 蓮翔
氷見市立比美乃江小学校 2年 御器 明莉
朝日町立さみさと小学校 1年 水島 優奈

優良賞

「げんきやねえ」 やさしいこえと はなのみち
やまざとに はなでつながる ちいきのわ
はずむ声 みどりもそよぐ とうげこう
どんな日も 元気をくれる 町の花だん
登下校 名も知らぬ花に 元気もらう
カラフルな 花が彩る ぼくの街

氷見市立西の杜学園 1年 新家 綾馬
氷見市立西の杜学園 1年 坂本 優奈
氷見市立朝日丘小学校 2年 守 礼華
朝日町立さみさと小学校 4年 松石 笑舞
氷見市立上庄小学校 5年 向 結菜
富山市立奥田中学校 1年 倉又 悠嘉

佳作

花がさく えがおがあふれる ふっこうのわ
みんなで お花の水やり えがおさく
花咲くと 花といっしょに 笑顔咲く
花を見て 明日も元気に がんばるぞ
みずやりで 心のつぼみも 開花する
登下校 花ある道に 笑顔咲く
朝日浴び 輝く花と 始まる一歩
守りたい 緑いっぱい この景色
風そよぎ なびく草花 あふれる笑顔
はなみどり 夢いっぱい 咲きほこる
花いっぱい 笑顔あふれる 明るい町
木を植えて 未来へ投資 S D G s

朝日町立さみさと小学校 2年 水島 渚琴
立山町立立山中央小学校 2年 荒井 ノア
氷見市立湖南小学校 4年 中島 咲幸
朝日町立あさひ野小学校 6年 水島 唯乃
入善町立入善中学校 1年 小山 陽葵
入善町立入善中学校 1年 長島 昊汰
富山市立奥田中学校 1年 小松 芽依
富山市立奥田中学校 1年 崎田 心遥
南砺市立南砺つばき学舎 7年 中山 陽愛
入善町立入善中学校 3年 金澤 紅采
氷見市立西の杜学園 9年 石出 美愛
南砺市立平中学校 3年 藤田 大智

総 評

能登半島地震の大きな被害の後でも、花や緑が変わることなく与えてくれる感動をしっかりと受け止め、人々を元気づける言葉としてまとめた作品が多く寄せられました。

これからも、花や緑、それらとかわる人々の様子から感じた驚きや喜びを他の人に伝えてください。自分の心を動かしたのは何かをよく考え、くり返し口ずさんだり、メモをしたり、語順を入れ換えたりしてみると余分な言葉が消え、他の人に共感される作品になっていきます。そうすることは、自分の心の成長にもつながります。



最優秀賞評

最優秀賞を受賞した氷見市立上庄小学校 齊藤広和さんの作品は、「あかしろ きいろ」と並べたことで、一本一本の花が個性豊かに咲きほこる姿を想像することができます。「あつまるえがお」から花を育てることにより、一人一人の心が通い合ったことも分かります。語順もピタッと決まっています。

花といっしょにみんなも成長したことが伝わってきて、口ずさむ人の心もはずんできます。

(審査委員長 山本 晶)

3 富山県花のまちづくりコンクール

(1) プレミアム花壇

最優秀賞



射水市 小杉花作り同好会

優秀賞



射水市 市井コミュニティー花壇



砺波市 五ヶみちグループ



小矢部市 野ぎくの会



富山市 寺崎 啓乃



砺波市 東野尻花と緑の推進協議会

優良賞



南砺市 北部花緑愛好会



南砺市 梅ヶ島フラワー街路の会

総評

花壇は天候の影響を免れることができないので、活動にかかわる人々が知恵を出し合いそれぞれの花壇の環境条件、立地条件に合った植物を選び、管理の手間を減らすマルチングなど様々な工夫をして花を育てられており、対象の8花壇は「さすがにすごい花壇！」と感心させられました。

雨、過湿に弱いペチュニアですが、這い性で降雨時に花が閉じるので花が傷まない、花柄が自然に落ちるので、花柄摘みが不要のペチュニア・さくらさくら、ペチュニア・桃色吐息を植栽されているところが数か所あり、品目だけでなく品種へのこだわりがうかがえました。

コンクールに合わせた花壇作りではなく、自分たちが楽しめるように取り組んだ所、デザインをグリーンキーパーだけではなく各区画を家族やグループにまかせた所もあり、花壇を通して地域との交流が行われていました。「高齢化が進行し、地域の緑花活動の担い手となる次代の人材への継承が課題。」と言われた所もいくつもありました。

涼しげな星形の花を咲かせるイソトマ、強健で美しい花を咲かせるキョウチクトウ、性質が強く鮮やかな花が長期間咲き続ける宿根ロベリア、植物全体が赤～紫色を帯び紅色の実をつけ大きく育つトウゴマ、白い縁取りの葉が美しい初雪草、花色が変わるランタナなど、有毒植物が花壇に見受けられました。子供やペットが直接触れない場所に植栽し、作業の際ゴム手袋を着用し、枝葉の処理等の取り扱いに注意が必要です。



最優秀賞評

射水市の「小杉花作り同好会」の花壇が3年連続最優秀賞を受賞しました。花壇の素晴らしさはもちろんのこと、地域の幼稚園児やデイサービス利用者などと連携し、種ダンゴ作りから植栽まで行う、「ポケット花壇」と称した参加型の花壇の取り組みも評価されました。花と緑に触れ、育てる楽しさ、花咲く喜びを与えてくれていることでしょう。

メイン花壇には樹木や宿根草のほか、カラーリーフや高低差のある一年草を植栽してあり、デザイン性の高さも評価されました。

(審査委員長 舘 睦美)

〈令和6年度花と緑のコンクール審査員〉

○第50回花と緑の標語コンクール

山本 晶 立田ひろみ 黒田哲也 木原和夫 松井伸彦 酒井武史

○第52回花と緑のポスター原画コンクール

越谷なつみ 米田雪子 広井優子 黒田哲也 木原和夫 松井伸彦 酒井武史

○第51回富山県花のまちづくりコンクール

森松 敬 兼本 正 越谷なつみ 柴崎英樹 古市幸子 舘 睦美 中田政司
 十二町 薫 金岡伸夫 石黒哲也 大原隆明 川崎弘美 高田敏充 山本良孝
 高橋一臣 石崎弥佳 古崎三夫 松井伸彦 酒井武史 (順不同)

(2) 一般花壇

最優秀賞



南砺市 玉成花壇愛好会

優秀賞



小矢部市 北蟹谷花と緑の友の会



入善町 花と緑の銀行入善支店 梶山地方銀行



上市町 花と緑の銀行上市支店



富山市 文京町公園愛護会



高岡市 高岡市立醍醐公民館
花と緑の推進部会

優良賞



砺波市
南般若花と緑の推進協議会



射水市
水戸田花壇



高岡市
小勢緑化推進委員会



砺波市
五鹿屋花と緑の推進協議会



富山市
上堀駅を愛する会



氷見市
余川ふれあい花壇

奨励賞



南砺市 広瀬館花と緑の楽園



小矢部市 アサガオと花の公園づくり

努力賞



魚津市 野村 義明

総評

今年のコンクールでは能登半島地震により被害を受けた花壇を修復して花づくりを続けた事例に感動しました。また、「つらい思いをしている人達に少しでも笑顔を取り戻して頂きたい。」との願いを込めた活動がとても印象的でした。さらに、オリンピックにちなんだ配色やデザインなど、今年ならではの特徴的な花飾りが見られました。

今年も6月、7月がかなり高温に経過したため、例年どおりの管理では生育が旺盛になり過ぎて姿勢を乱したり、下葉が枯れるなど、咲き疲れた株も見られました。ただし、肥料の種類や量を工夫したり、早めの花摘みや切り戻しを行って生育をコントロールした花壇では、花や葉の色も鮮やかで生き生きと咲き満ちていました。

地域の特産物を活用して独自性を発揮した花壇や、これまでの常識にとらわれない独想的な花飾りのアイデア、さらには、新しい花へのチャレンジなど、自分達の個性に合わせたいろいろな花の楽しみ方をたくさん学ばせていただきました。さらに、ドローンによる花壇撮影やQRコードを活用した花壇情報の発信など、若者が花と緑の活動に関与されていることが感じられ、とても嬉しく思いました。

花壇管理に各種団体を積極的に組み込んだり、コミュニティ活動と花づくり活動を密接に連携させるなど、花のまちづくり文化が着実に定着しており、今後より一層、地域そして各家庭へと進展していく予感に溢れたコンクールでした。

最優秀賞評

最優秀賞を受賞した南砺市の「玉成花壇愛好会」の花壇は、大きな花壇を上下二段に分け、それぞれデザインに合わせた管理通路が設けてあり、大空に悠々と浮かぶ雲のような雄大な花々が見るものを圧倒しました。花の輝きはもとより、各種のカラーリーフが上手に組み合わせられ、生き生きとした数々の葉が織りなす爽やかな緑の空間が特に印象的でした。高度な技術に基づいた確かな花壇管理と花壇づくりへの情熱に感心しました。

花壇の左手には森の小道を連想させる花の空間が演出され、花壇の中をゆっくりと歩けば、一步ごとに花の景色が変わる感動的な花壇に仕上がっていました。(審査委員長 山本良孝)



(3) 花の道

最優秀賞



富山市 新庄北小学校&地域団体

優秀賞



南砺市 南部第六福寿会



高岡市 下伏間江地域環境保全委員会



砺波市 高波花と緑の推進協議会



高岡市 立野栄町花づくり会

優良賞



射水市
櫛田の里 Flower Road



富山市
興南中学校教育後援会
& 生徒会美化実践部



砺波市
太田福寿会



射水市
フラワーロード土田自治会



富山市
大沢野上大久保地区
花いっぱいグループ

奨励賞



氷見市
柳田活性化推進連絡会

総評

昨年以上の暑さが続く中、皆さんには素晴らしい花の道を育てていただきました。100m以上にわたる大規模な花壇、地域やグループの総力を挙げねばこなせない作業を——耕起、資材散布、育苗、定植、水やり、花柄つみなど——、10年、20年、さらには30年以上にわたって取り組まれていることに、頭が下がります。

①大きな大きなコキア、ハゲイトウの育て方（南部第六福寿会）、②幼稚園児から80歳代の地域のまとまりと分担力（下伏間江地域環境保全委員会）、③地域の子供らを主役とした組織的な活動（新庄北小学校 & 地域団体、櫛田の里 Flower Road、興南中学校教育後援会 & 生徒会美化実践部）など、素晴らしい花壇に潜む努力・源を、是非、直接、見て聞いていただきたいと思いました。

長い花の道に一体感とリズムを醸し出し、省力化も考えた宿根草・花木の植生、竹や樽による造作物の活用、地力に即した有機物・緩効性肥料の施用など、皆さん、果敢に取り組まれていました。

「自分ら、好きやからやるし、好きなようにやってるが、楽しいよ・・・（立野栄町花づくり会 小林代表）」の声に、花の道を歩いて私たちも楽しくなる理由があるように感じました。



最優秀賞評

富山市の「新庄北小学校 & 地域団体」が初の最優秀賞となりました。平成22年に新庄北小学校が開校し、親しい友達と別れるなどして不安な子供たちを元気にしたいと、花壇づくりが始まったとのこと。123mの花壇を3年生が20班に分かれ、先生方、自治振興会、社会福祉協議会、花と緑の地方銀行などのサポートを得ながら、一年を通してお世話されています。

①班ごとの独自のデザインのなかに、全長を通したルドベキア（黄）が全体の一体感・リズムを醸成、②一年を通して楽しめる花たちの植栽など、花壇そのものの素晴らしさに加え、③間伐材、枕木を活用した花壇づくり、④花を育てる大切なことの理解（勉強会等）、⑤写真コンテストの開催（3年生が審査員）など、子供たちを主役にしつつ下支えされている、周りの大人の皆さんの努力が溢れていました（楽しまれながらですが・・・）。

3年生の諸君、これからも花とふれあう楽しさを五感で感じ、大人の皆さんにもたくさん楽しさを分けてください。そして、大人になっても花と親しんでください。（審査委員長 石黒哲也）



(4) 学校花壇

最優秀賞



高岡市 成美小学校

優秀賞



黒部市 荻生小学校



氷見市 湖南小学校



黒部市 石田小学校



射水市 小杉東部保育園

優良賞



黒部市 若栗小学校



射水市 作道小学校



富山市 老田保育所

奨励賞



富山市 船嶽小学校



射水市 小杉西部こども園



高岡市 南条小学校



富山市 光陽小学校

努力賞



砺波市 庄東小学校



入善町 飯野小学校

総評

今年にはさらに厳しい気象条件、環境の中で、使命感をもって取り組んだ学校が多かったです。限られた時間と予算の中で、テーマを設定し、デザインを公募し、その神髄を花でどう表現するか、様々な工夫を見ることができました。より立体感を出すために、より視覚的なインパクトを出すために地域の専門家やグリーンキーパーさんらの協力を仰いだことも伝わってきます。そして日々の水やりや雑草取りにもどれだけの労力を注いでくれたことが、頭が下がります。それぞれの園や学校が、自分たちの花壇の特性をよく見極めてそれを生かした管理をしていたと感じました。厳しい状況の中で、植物のお世話の様々を経験することによって、生育が良くなるよう工夫してきたことが伝わりました。もしもお世話に行き詰ったら、委員会の自分たちだけでなく、先生方や保護者、地域の専門家に相談しましょう。地域の人的資源を最大限に生かすことも花を愛する心に通じると思います。

今年度から、保育園・幼稚園と、学校が同じグループとして評価対象になりました。それぞれのよさと限界を自覚したうえでのびのびと活動に参画してくれることを望みます。そしてなお一層、植物と触れ合い、きれいな花を咲かせ地域に貢献してください。

最優秀賞評

最優秀賞を受賞した「高岡市立成美小学校」の花壇は、栽培委員会の5・6年生が中心になって、全校児童で作られています。

今年度のテーマを、能登半島地震で被害を受けたことを強く意識し、『がんばろう北陸』にしたこと、各学年の花壇を作り上げるうえで願いを花言葉と花で表現できたこと、どんな小さなことでも毎日欠かさず続ける地道な活動に喜びを見出していること、継続年数、花壇の規模、参加の人員数、地域の協力等、実質的な歴史と伝統を感じさせてくれました。

芯が通った花壇づくりのコンセプトがしっかりしており、学年花壇＝各パーツの出来栄が素晴らしく、まさに花を通じて学校教育を具現化していると感じさせてくれました。



(審査委員長 古市幸子)

Ⅷ 花と緑の講演会

「らくして、楽しい！園芸作業のススメ」

NHK「趣味の園芸」講師
日本フラワーカレッジ 講師

園芸家 杉井 志織

個人で楽しむ植物の提案を長くしてきました。コンテナでつくる小さな景色や、置き方で表情が変わる、組み合わせの面白さなどです。併せて、公共花壇を活用し、大勢の人たちと管理していく「花壇ボランティア」で、植物の配置や組み合わせ、場所に適した植物の見極めなど、一つの庭を大勢と作り上げる楽しさも経験してきました。庭を育て管理していく面白さと、その花壇を暮らしの景色にしている人たちとの交流や、作業を労う一声など、人の心を動かす植物の存在もまた面白く、色々な景色を作りながら、育てる人、眺める人の交流もつくることができました。

公共の花壇でネックになることも見えてきた頃、自宅の庭の様なきめ細かな作業をしなくても、限られた作業日と時間内でできる管理の方法で、植物に無理なく美しい景色をキープする方法、そして、植物は健康に育つための方法があること。そして、管理し育てる人が、無理しない作業内容で、思い通りの姿に植物を育てることができる方法などがあることに気がつきました。「頑張らない園芸」です。頑張らないために、春にどんな作業を集中したら良いのか、夏の酷暑の中、しゃがんで辛い作業をしないためには？など、季節を通じて、植物を育てる環境の条件と、管理し育てる人たちの条件などを考え、ベストな庭づくりができることに気がつきました。さまざまな品種改良を経た植物には、私たちの苦手な園芸作業の一部を軽減すべくヒントがたくさんあります。例えば、花がらつみがいらぬ品種や、肥料に頼らず植物の癖をいかして花数を増やす方法など。植物の花色ではなく、品種を活用する方法や、花壇内の掃除をしやすくすることで軽減される病害虫の問題など。色々な「らくちんな方法」があることに気がつきました。難しいことはなく、季節のほんの些細なことを、先を見越して今やっておく…という程度です。この「らくちんな方法」を使いこなせば、家庭の園芸でも公共の園芸でも、負担が少なく、「園芸作業は楽しいこと」につながると気がつきました。負担が少ないことのメリットは、空いた時間で違う作業に集中できたり、育てることの次のステップに向かう楽しさが見えてきたりします。活用です。切り花にしたり、押し花にしたり、収穫できるものは、料理にチャレンジしたり。暮らしが楽しくなるエッセンスが、庭にたくさん散りばめられていることに気がつきます。

長く園芸をやっていると、「植物はこう育てるべき」や、「花壇はこうやって管理しなければならない」という思いが強くなりますが、少しだけ立ち止まって「らくを楽しむガーデニング」にチャレンジしても良いのではないのでしょうか。「暑い日は作業しなくても良い」とか。咲き終わった花がらも絵になる植物を選ぶ、道具に頼った管理方法など。「サボる」でも、「手抜き」でもなく、今までの作業内容を少し見直して、植物のクセや季節のタイミングを取り入れながら、育て上げていく庭づくりの方法です。育てていくことが面白くなってくると、面倒に感じたり、負担に思っていた作業が軽減され、植物に手を差し出すタイミングが見えてきます。「お世話」からは見えてこなかった植物のアピールが「育てる」になると見えてきます。不思議な話かもしれませんが、育てることの面白さが見えてくると、植物が応えてくれている気持ちになります。人も植物も一緒に育つ面白さ。そんな関係性を「頑張らない庭」とするなら、人も植物も頑張らない庭は、なぜか心地よく、人が関わる時間を長くしてくれる気がします。

虫食いの葉っぱがあっても良いのでは？倒れやすい植物には、倒れなくなる理由がありますし、こんなはずじゃなかったことの前に見える、想定していない素敵なこともあると思います。思いがけない素敵な景色は、植物からのプレゼントだとも思います。思う様にいかない生き物との時間の過ごし方を、今少し立ち止まり、「～ねばならない」ではなく、「～それもいいかも！」に変える時間の使い方にしてみては？と思います。

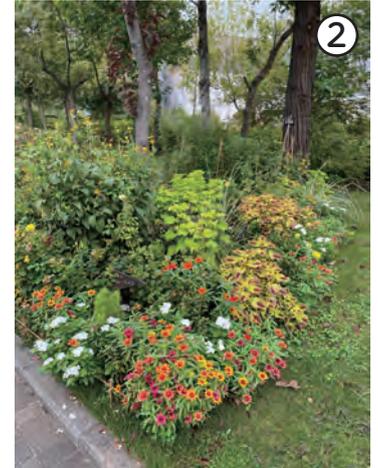
「らくして、楽しむ」、最高ではないでしょうか？暮らしは楽しい方が良くって思います。そんな、私の「らくちんガーデニング」について、今回は色々な景色を交えてお話をさせていただければ幸いです。その中で何か一つでも、お聞きくださった方々の役にたつことや、知恵につながるがあれば最高に幸せです。すぐに響かない話もあると思います。でもいつか、この話の何かが、芽を出し葉を広げ、みなさんの心の中で育ってくれることを期待しています。

《写真の説明》

①黄色い花壇—施工時

施工時の3月下旬の庭です。

土がたくさん見えています。草取りがしやすいことと、地上部にはまだ出ていない宿根草が植えてあります。お披露目最初の庭は、少しがっかりかもしれません。

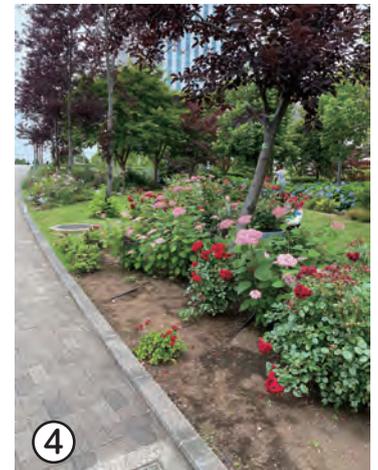


②黄色い花壇—開花期

地上部が見えなかった宿根草の類が育った状態。スカスカに見えた庭が盛りだくさんになった様子。通勤や通学で日々この花壇前を通る人たちに「変化する面白さ」を仕掛けた庭の一部。

③赤い花壇の施工時

パンジーは、花がらつみをしなくても連続開花する品種。小さな丸葉のハボタンを数株寄せて植えます。色の認識と、北風で痛むのを防止するため。大きなブロンズリーフは、ケール。



④赤い花壇の植え替え時

バラや花木が咲き始め、今が一番美しい時期ですが、夏花壇に衣替えのタイミング。梅雨入りの声までに、夏の草花を植え替えます。(定植後の水やりを軽減するため)

⑤流通センター駅前 (2008年)

植えたての様子。色ごとに分かれ整然とした庭の植栽に。初めて「まっすぐ植えない」にチャレンジしました。



⑥流通センター駅前 (2008年夏)

八重桜の並木の下にある花壇でしたので、冬春とはことなり日陰のスペースに。桜の枝を整理してもらい、木漏れ日が差し込む明るい日陰の庭に。強い光が苦手な草花を中心に夏の衣替えをしていきます。日陰の場所と日が差す場所を見極め、適した環境にあう植物を考えます。



◆ 令和6年度 富山県花と緑のコンクール入賞作品展

〈第1回〉

と き 令和6年12月10日(火)～12月25日(水)

ところ 富山県中央植物園 サンライトホール

〈第2回〉

と き 令和7年2月7日(金)～2月16日(日)

ところ 富山市婦中町 フューチャーシティ ファボーレ



はなぴー

◆ 令和6年度 花とみどり・ふれあいフェア

と き 令和7年2月15日(土)～2月16日(日)

ところ 富山市婦中町 フューチャーシティ ファボーレ



令和5年度 花とみどり・ふれあいフェア



公益財団法人 **花と緑の銀行**

〒939-2713 富山市婦中町上轡田 42

TEL 076-466-2425 FAX 076-465-5923

<https://www.bgtym.org/fgbank/>

花と緑の銀行だより 233号

～ 第52回花と緑の大会大会誌 ～

発行日 令和6年(2024)10月